

# SimDiff の使用にあたる OLicense-Server インストール クイックスタートガイド (Linux 用)

## 目次

OLicense-Server のインストール	1
OLicense Server コントロールパネルの作動	2
OLicense-Server のコンフィギュレーション	2
ポート番号の設定	2
サービスとして OLicense を作動	2
ローカルプロセスとして OLicense を作動	3
ブラウザでフロントエンドを開く	3
OLicense ウェブインターフェイスのパスワードを設定	3
サーバー情報を EnSoft に登録 (フローティングライセンス)	4
ライセンスの追加・アップデート	6
OLicense-Server-Control を使用	6
ウェブインターフェイスを使用	6
SimDiff でのライセンス設定	6
ライセンスの削除	7
フローティングライセンスの状態を確認	7
ライセンスのチェックアウトを表示	7
ワークグループフローティングライセンスのユーザーリストを管理	7

## OLicense-Server のインストール

ご希望のディレクトリ（例:/opt/Optimum/OLicenseServer）に、[OLicense-Server for Linux](#) のコンテンツを、抽出してください。

## OLicense Server コントロールパネルの作動

OLicense Server コントロールパネルは、OLicenseServerCtrl.lin ファイルを実行して、開くことができます。OLicense Server を起動するには、「サービスとして OLicense を作動」または「ローカルプロセスとして OLicense を作動」の項目を参照してください。

## OLicense-Server のコンフィギュレーション

OLicense-Server のコンフィギュレーションには、OLicense-Server を作動させるポートと、サービスとして実行するかまたはローカルプロセスとして実行するかを決定する必要があります。

持続性、パフォーマンス、一貫性等の理由から、OLicense-Server をサービスとして設定することを強くお勧め致します。

## ポート番号の設定

デフォルトのポート番号は、80 となっていますが、他のサーバーとコンフリクトする可能性があります。サーバーのポートは、ini-ファイル (licenseserver.ini) から変更することができます。ini-file は、直接編集することも、「サーバー-INI-ファイル」タブの下にあるサーバーのコントロールパネル内からも編集することができます。

ポート番号を変更するには、“-port”オプションを見つけて下さい。この後に、ポート番号が続きます。(例: -port=8080) port オプションは、デフォルトでコメントアウトされているため、行の先頭にある 2 本のスラッシュ「//」を必ず削除してください。

ポート番号を変更後、「サーバー-INI-ファイル」の下の方にある Save ボタンをクリックして下さい。

サーバーが既に作動している場合、ローカルプロセスの場合には「ローカルを終了する」と「ローカルを開始する」を、「開始/終了」タブ内のサービスの場合には「サービスを終了する」と「サービスを開始する」を使って再起動させて下さい。

## サービスとして OLicense を作動

サーバーコントロールから

- サービスとして OLicense Server を実行するには、**root** 権限で、OLicenseServerCtrl.lin を実行します。
- コントロールパネルで「開始/終了」タブを選択します。サーバーがローカルプロセスとして設定され、現在作動している場合には、「ローカルを終了する」をクリックして下さい。
- そして、「サービスとしてインストールする」をクリックします。
- OLicense-Server の設定が終了したら、「サービスを開始する」をクリックして、サーバーを作動させます。

注: サービスが実行されたら、ブラウザフロントエンドにアクセスするには、コントロールパネルを閉じて、root 権限なしで、OLicenseServerCtrl.lin を実行する必要があります。

## ローカルプロセスとして OLicense を作動

ローカルプロセスとして OLicense Server を実行するには、OLicenseServerCtrl.lin を実行します。

OLicense-Server がサービスとしてインストールされていない場合には、コントロールウィンドウの「開始/終了」タブに「ローカルを開始する」というボタンがあります。このボタンをクリックすることにより、「OLicense-Server」がローカルプロセスとして起動します。同様に、「ローカルを終了する」のボタンは、サーバープロセスを終了させます。

## ブラウザでフロントエンドを開く

サーバーコントロールから

- root 権限なしで、OLicenseServerCtrl.lin を実行して、サーバーコントロールパネルを開きます。
- ウェブインターフェイスを開くには、「開始/終了」タブに進み、「ブラウザを開くフロントエンド」をクリックします。OLicense サーバーのウェブインターフェイスをブラウザして下さい。この過程は、サーバーのアドレスとポートを分かっている場合には直接ウェブブラウザから、分かっている場合には OLicense-Server-Control の「開始/終了」タブ内の「ブラウザを開くフロントエンド」ボタンを使用して実行することができます。

ウェブブラウザから

- ウェブブラウザを開いて、http://127.0.0.1:port に移動します。ポートは、設定されたポート番号に置き換える必要があります。例えば、ポート番号が 8080 に設定されている場合、ブラウザのフロントエンドを開く URL は http://127.0.0.1:8080/ となります。

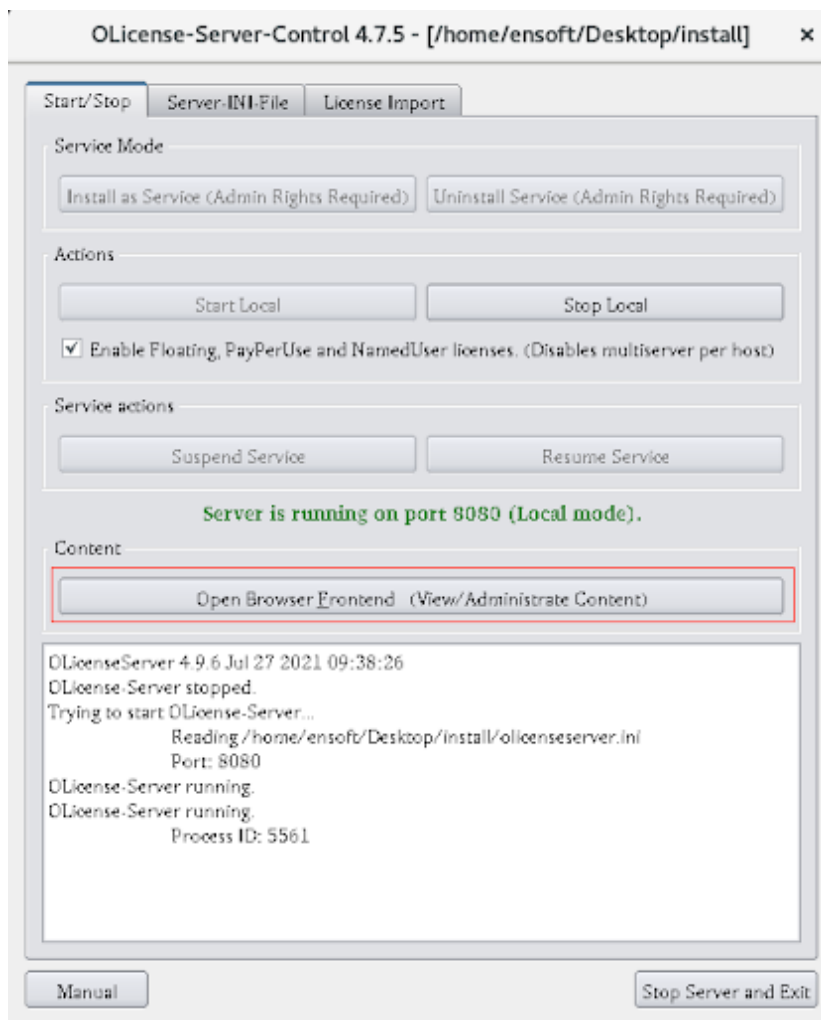
## OLicense ウェブインターフェイスのパスワードを設定

OLicense-Server の作動後、ウェブインターフェイスのパスワードを設定することをお勧めします。ウェブインターフェイスを開くには、「開始/終了」タブ内の「ブラウザを開くフロントエンド」をクリックします。「サーバーを管理する...」をクリックし、パスワードダイアログが表示されたら、「OK」をクリックして下さい。（サーバーを初めて作動させた場合は、ユーザー名とパスワードが空欄になっています。）

「ユーザー& パスワード」の左側にあるボックスのチェックマークを外し、現在の設定を変更することを知らせます。そして、お好みのユーザー名とパスワードを入力します。ページの下までスクロールして、「選択された属性を変更する」をクリックして下さい。

## サーバー情報を EnSoft に登録 (フローティングライセンス)

「ブラウザを開くフロントエンド」を開き、「サーバーを管理する…」をクリックします。「サーバー情報をエクスポートする…」をクリックし、ファイル(.olsiml)を保存して、EnSoft に送信して下さい。次の図をご参照下さい。



7つのユースケースがあります:		
ライセンス依頼	ソフトウェアプログラムからのライセンス依頼を承諾又は拒絶します。依頼規約は、ライダール暗号化されたデータを伴うSOAP(シンプルオブジェクトアクセスプロトコル)に基づきます。	(OLicense-Client-API対応の認可されたソフトウェアプログラムはこの様にコミュニケーションを取ります。)
ライセンスのインポート	ライセンス付与者から取得したライセンスキーファイルをインポートします。ライセンスファイルはXMLフォーマットである必要があります。キーはライセンス依頼を確認するために必要です。	<input type="text"/> Browse... 選択されたXMLをインポートする。 このフォームを使い、ライセンスファイルを選択・送信します。
ライセンスレポート	インポートされたライセンスを表示します。	ライセンスを表示する
ライセンスのチェック・イン/アウト	パスワードで守られているフォームを呼び出し、遠隔サーバーからライセンスをチェックアウト又はチェックアウトしたライセンスをチェックインする。	<input type="text"/> 遠隔サーバーのURL ライセンスをチェックアウトする... ライセンスをチェックインする...
サーバー管理	パスワードで守られているフォームを呼び出し、サーバー属性を管理します。	サーバーを管理する...
ライセンス管理	パスワードで守られているフォームを呼び出し、ライセンスのコンフィギュレーション及び削除を行います。	ライセンスを管理する...
フローティングライセンスの指定	パスワードで守られているフォームを呼び出し、フローティングライセンスをホスト又はユーザーに指定します。	フローティングライセンスを指定する...

詳細に関しては弊社のホームページを御覧ください: [www.olicense.com](http://www.olicense.com)

OLicenseサーバー属性		
■ ユーザー & パスワード	数多くのフォームを守るユーザー名とパスワードを設定/変更する	ユーザー <input type="text"/> パスワード <input type="password"/> 確認 <input type="password"/>
■ ログファイル	ログファイルを動作可能/不可能にします。サーバーがログファイルを保管するパスを設定して下さい。ログファイルにはセッションプロトコル(例えば、誰が何時ライセンスを請求したか等)が含まれます。ファイル名: OL.log.	ログファイルが使用可能になりました。 (はい) (いいえ) <input checked="" type="radio"/> パス C:/Program Files (x86)/Optimum GmbH/OLic
■ 警告メール	警告メールアドレスとメールサーバーを設定して下さい。ライセンスサーバーによりライセンス使用期限などの情報が設定されたメールアドレスに送信されます。	メールアドレス <input type="text"/> SMTPサーバー 25 ライセンスの期限が切れるお週間前に警告する 2
■ ベイバーユースファイルパス	サーバーがベイバーユースのプロトコルファイルを保管するパスを設定して下さい。ファイル名: OL_ppu.	C:/Program Files (x86)/Optimum GmbH/OLicenseServer/
■ サーバーをチェックイン/アウトする	ライセンスをチェックイン/アウトする望ましいサーバーのURLを設定して下さい。フォーマット: //: e.g. http://localhost:80	<input type="text"/>
■ 設定サーバーID	設定サーバーID。フローティング、ベイバーユース、そして任意的にネームドユーザーライセンスにより使用されます。右側に表示されない場合は、どちらかのIDが使用されています。	サーバー情報をエクスポートする...
■ 代替サーバーID 1	ネットワークカード情報の複合ID	<input type="text"/>
■ 代替サーバーID 2	使用中ネットワークカードのID	<input type="text"/>
■ U3スマートドライブID	携帯できるIDをお望みの場合には、(表示されている場合は)右側にあるIDを使用できます。そのIDのライセンスはこのU3ドライブが接続されている全機械において有効です。	<input type="text"/>

## ライセンスの追加・アップデート

### OLicense-Server-Control を使用

root 権限なしで、OLicenseServerCtrl.lin を実行して、OLicense-Server-Control を起動します。ライセンスをインポートするには、サーバーが既に作動している必要があります。サーバーが作動していない場合には、「開始/終了」タブ内の「サービスを開始する」か「ローカルを開始する」をクリックして下さい。ライセンスファイルをインポートするには、「ライセンスのインポート」タブを開きます。テキストボックス内にファイル名を入力するか、...をクリックしてライセンスファイルをブラウザして下さい。そして、「ライセンスファイルをインポートする」ボタンをクリックします。

### ウェブインターフェイスを使用

OLicense サーバーのウェブインターフェイスをブラウザして下さい。この過程は、サーバーのアドレスとポートを分かっている場合には直接ウェブブラウザから、分かっていない場合には OLicense-Server-Control の「開始/終了」タブ内の「ブラウザを開くフロントエンド」ボタンを使用して実行することができます。

「ライセンスのインポート」セクションに、「Browse...」ボタンがあります。このボタンをクリックし、インポートを望むローカルマシンからライセンスファイル(.olixml)を見付け出して下さい。ファイルを選択すると、そのロケーションがテキストボックスに書き込まれます。そして、「選択された XML をインポートする」ボタンをクリックすることにより、OLicense-Server がライセンスをインポートし、そのライセンスが有効であれば、認証します。

## SimDiff でのライセンス設定

SimDiff のインストールをそれぞれ設定して、ライセンスサーバーに接続する必要があります。SimDiff ファイルメニューから「ライセンスのセットアップ」を選択します。

1. ライセンスタイプ: 「ネットワーク(OLicense)」 を選択します。

2. アドレス : ライセンスサーバーのアドレスを入力します。アドレスは名前または IP アドレスのいずれかです。例 : `myserver.example.com` または `93.184.216.34`。
3. ポート : ライセンスサーバーのポートを入力します。デフォルトでは **80** となっています。サーバーのポート番号を変更する場合には、「ポート番号の設定」の項を参照して下さい。
4. ライセンスの種類 : 「ノードロックワークグループフロート」または「指定ユーザーのワークグループフローティング」を選択します (ワークグループフローティングライセンスは、指定ユーザークライアントまたはノードロッククライアントの混合プールにも対応します)。
5. 製品名 : SimDiff エディションに一致する製品名を選択します (SimDiff 4 Team, SimDiff 4 Professional 等)。

## ライセンスの削除

ブラウザフロントエンドを開き、ホームページの「ライセンスを管理する...」ボタンをクリックして下さい。聞かれた場合には、サーバーアドミニログイン情報を入力します。削除するライセンスの欄を探し、「アンロード」と「変更」の両欄のボックスにチェック印を付けます。同ページの下方にある「選択したライセンスを変更する」ボタンをクリックして下さい。サーバーロックライセンス (例えば、ワークグループフローティングライセンス) を所有している場合には、削除キーが渡されます。サーバーロックライセンス使用のコンピューターを変更する場合は、ライセンスの削除を確認するために、このキーを **EnSoft** に送信する必要があります。ライセンス削除の確認が済み次第、**EnSoft** より変更先のコンピューターにロックされる新しいライセンスファイルが送信されます。

## フローティングライセンスの状態を確認

### ライセンスのチェックアウトを表示

「ブラウザを開くフロントエンド」を開き、「ライセンスレポート」内の「ライセンスを表示する」ボタンをクリックします。「フローティング(使用中)」欄には、インストールされているフローティングライセンスの本数と現在の使用人数が表示されます。

**OLicense** サーバーは、**OLicense** インストレーションディレクトリのサーバーログも維持します。デフォルトのインストレーションの位置は `C:\Program Files\Optimum GmbH\OLicenseServer` となっています。ログファイル名は、**OL** で始まり、`.log` の拡張子が含まれています。フローティングライセンスが割り当てられる度に、ファイルに記録されます。

### ワークグループフローティングライセンスのユーザーリストを管理

付属文書の「ワークグループフローティングライセンス管理ガイド」を参照して下さい。